

# 中小企業景況調査報告書

( 第125回 )

平成24年 1 ~ 3 月期 実 績

平成24年 4 ~ 6 月期 見通し

平成24年 4 月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

## I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	2
2. 調査対象	2
3. 調査地域及び調査方法	2
4. 業種別・規模別回答状況	2

## II. 概 況

1. 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2. 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成24年3月
- (2) 調査対象期間 平成24年1～3月期実績及び平成24年4～6月期の見通し

## 2. 調査対象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）  
全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	61	44	63	67	278
中規模	14	13	21	13	25	86
合計	57	74	65	76	92	364
構成比(%)	15.7	20.3	17.9	20.9	25.2	100.0

### (2) 業界動向調査

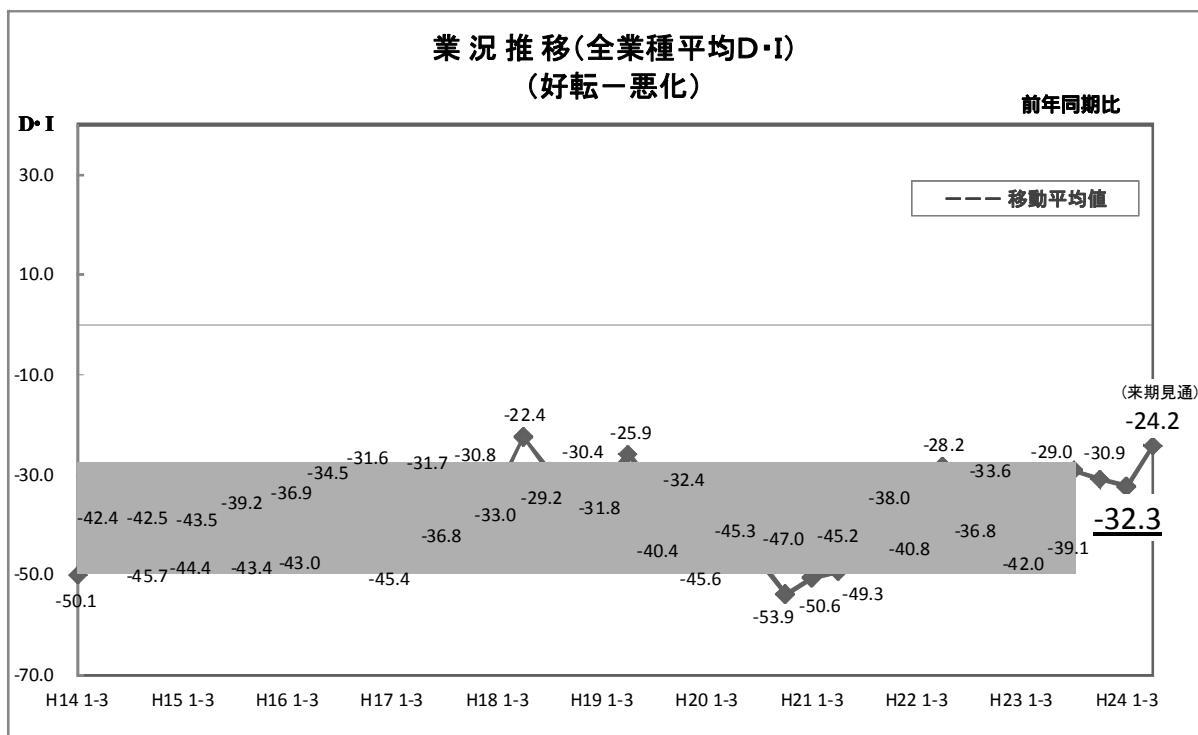
- ・業界動向ヒアリング先 製造業 32社、建設業 22社、卸売業 12社、  
小売業 36社、サービス業 49社、合計 151社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

## Ⅱ. 概 況

- 業況D・Iは依然マイナス水準で推移 -



### 今期の業況

今期(1月~3月期)の中小企業景況調査における全業種平均D・I値(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、前年同期比(平成23年1月~3月期の水準と比較した今期の業況)では -32.3と前回調査より、1.4ポイントマイナス幅を拡大した。

来期の業況見通しは、-24.2とマイナス幅を縮小する見通しとなっている。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 26.3 今回 22.8)、建設(前回 32.9 今回 37.8)、卸売(前回 21.3 今回 29.7)、小売(前回 41.5 今回 43.5)、サービス(前回 32.3 今回 27.8)と、建設業・卸売業・小売業の3業種でマイナス幅は拡大した。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、依然として全業種で「需要の停滞」(製造業34.1%、建設業55.2%、卸売業63.1%、小売業26.2%、サービス業32.0%)が依然として大きな要因となっている他、製造業では「製品(加工)単価の低下・上昇難」(18.2%)、建設業では「請負単価の低下・上昇難」(22.5%)、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」(10.5%)、小売業では「販売単価の低下・上昇難」(11.7%)、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」(14.1%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で8.4%と、前回調査時（11.9%）より3.5%低下と、設備投資を控える動き。また来期の設備投資予定については12.2%と上昇する見通し。

## 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 22.8（来期見通し 22.2）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年10月～12月期）時点からの推移では、前回 26.3 今回 22.8と3.5ポイントマイナス幅が縮小した。来期は 22.2と今回よりさらにマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・売上はなんとか前年をクリアしたが、資材高騰のため利益が取れない。一方で、商品の値上げは要求できないため、利幅を削ってなんとかやっている状況。（家具製造）
- ・個人消費の伸びもなく、全体的な景気の悪さを感じる。季節的な商品の売上増加あるが、小幅に留まっている。（菓子製造）
- ・低単価製品の引き合いが多く売上げ増にはなるが、採算面では原材料価格の上昇から利益増につながらない。（食料品製造）
- ・店舗関連の取付家具製品製造をしているが、店舗のリニューアルのサイクルが長期化しており、受注が減少傾向にある。（木製品製造）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 37.8（来期見通し 30.1）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年10月～12月期）時点からの推移では、前回 32.9 今回 37.8と4.9ポイントマイナス幅が拡大した。来期は 30.1と今回よりマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・新年度も工事発注数の減少により競争激化。先行き見えず悪化。（建設業）
- ・年々個人住宅建築申請数は減少し、更には町外のハウスメーカーの参入により厳しい状況が続いている。早めの公共工事の発注が期待される。（建設業）
- ・受注単価の低さが、業界の最大の課題。伴って、労務単価も下がっているため、若い職人が流出し、新しい職人も育たず、高齢化で、稼働期に職人を確保するのが大変。（職別工事）
- ・秋頃から冬期にかけて若干公共工事があったが、年々減少しており、先行き不透明感が続く。  
(土木工事業)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 29.7（来期見通し 25.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年10月～12月期）時点からの推移では、前回 21.3 今回 29.7と8.4ポイントマイナス幅が拡大した。来期は 25.0と今回よりマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・仕入単価の情報に伴い、販売単価も上昇。依然として高値で推移している。(燃料卸)
- ・本州の寒波による野菜等の乱高下が見られる。雪解けの遅れによる農作物の遅れも心配。  
(青果卸)
- ・前期より引き続き、厳しい状況が続いている。高額商品が売れず、単価の安いものも好調とは言えない。特に家庭での消費が減少しているように感じる。(生鮮食料品卸)
- ・一般消費者の建築関連に対する需要は依然伸び悩んでおり、厳しい価格競争となることが予想される。(建築資材卸)

【小売業】 [ 業況D・I値(前年同期比) 43.5(来期見通 28.9) ]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成23年10月～12月期)時点からの推移では、前回 41.5 今回 43.5と2.0ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は 28.9と今回よりマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・エコ補助金の投入により新車受注は堅調。U-Carは玉不足のため商品車の確保が大変である。サービスは大雪等によりボディーサービスの在庫が増加した。(車両販売)
- ・家電エコポイント後、反動でTVの売上が8割程度落ち込んでいる。(家電販売)
- ・原油価格の高騰により、仕入価格が上昇しているが、小売価格には未だ上乘せできていない。  
(燃料小売)
- ・観光客の減少、地域購買力の流出、先行き不安による買い控えと、売上は減少している。  
(総合小売)

【サービス業】 [ 業況D・I値(前年同期比) 27.8(来期見通 14.5) ]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成23年10月～12月期)時点からの推移では、前回 32.3 今回 27.8と4.5ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は 14.5と今回よりさらにマイナス幅を縮小する見通し。

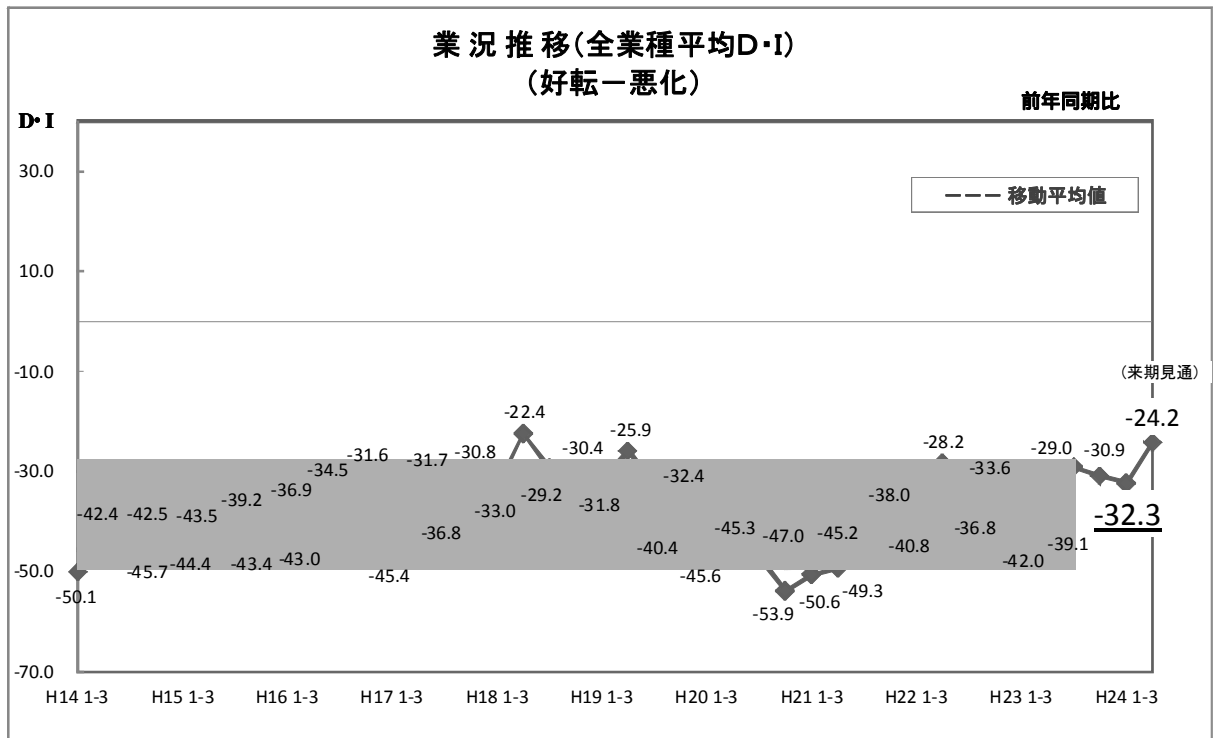
〔主なコメント〕

- ・東北方面に営業所があり、震災の影響も受けたが、昨年夏以降徐々に受注が増えている。しかし、原油高による燃料の高騰が続くと今後相当な影響がでるものと懸念される。(貨物運送業)
- ・低価格店が多くなってきており、従来の顧客が徐々に減少傾向にある。また、経営者の高齢化により、後継者のいない個人事業者は、廃業となるケースが増加傾向にある。(理美容業)
- ・歓送迎会の時期であるが昨年よりも予約数が少ない。そもそも業界全体に活気がない。(飲食店)
- ・震災の影響が大きかった前年と比べると業況は好転したように見えるが、前々年度と比較すると業況は不変。(ホテル)

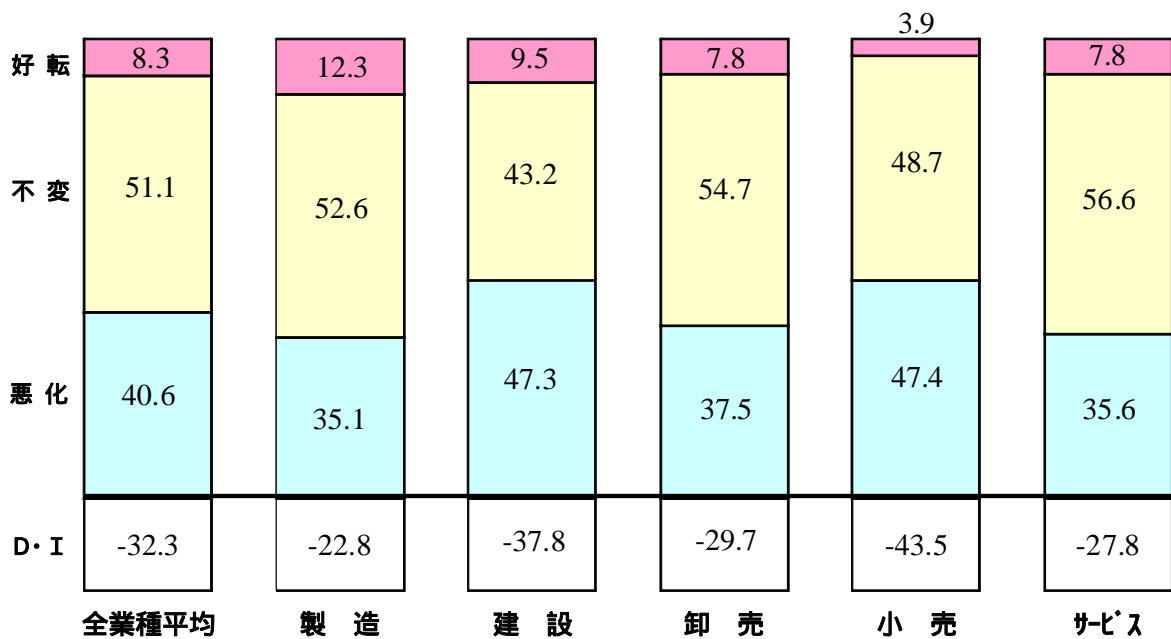
# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

【前年同期比】（平成23年 1～3月期の水準と比較した今期の業況）



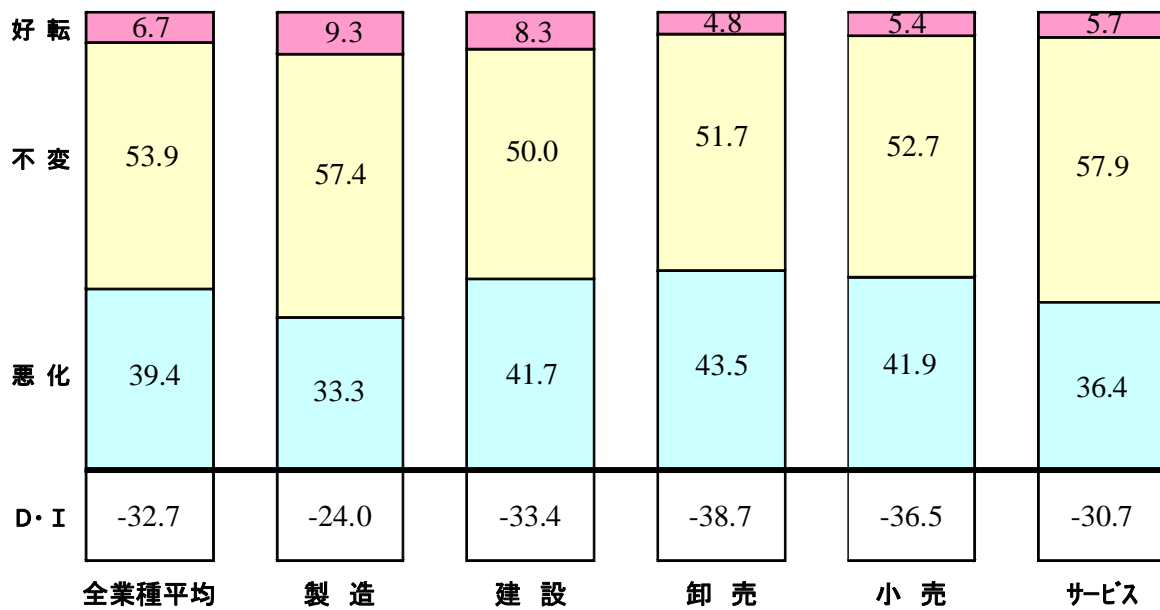
### 今期の業況(前年同期比)



全業種平均でD・I値 32.3〔前回調査時(平成23年10～12月期 30.9)より1.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 26.3 22.8〕、建設〔前回 32.9 37.8〕  
卸売〔前回 21.3 29.7〕、小売〔前回 41.5 43.5〕  
サービス〔前回 32.3 27.8〕

【前期比】（平成23年 10～12月期の水準と比較した今期の業況）  
今期の業況(前期比)

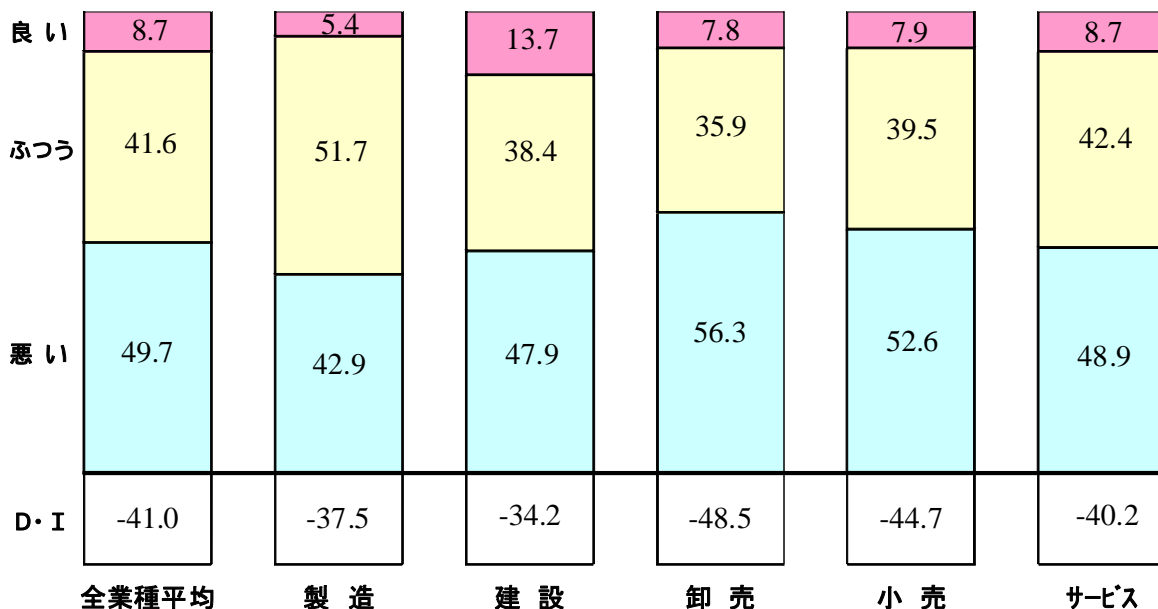


全業種平均でD・I値 32.7〔前回調査時（平成23年10～12月期 19.1）より13.6ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 17.5 24.0〕、建設〔前回 22.9 33.4〕  
卸売〔前回 6.9 38.7〕、小売〔前回 23.7 36.5〕  
サービス〔前回 24.7 30.7〕

【今期の水準】

今期の業況(今期の水準)



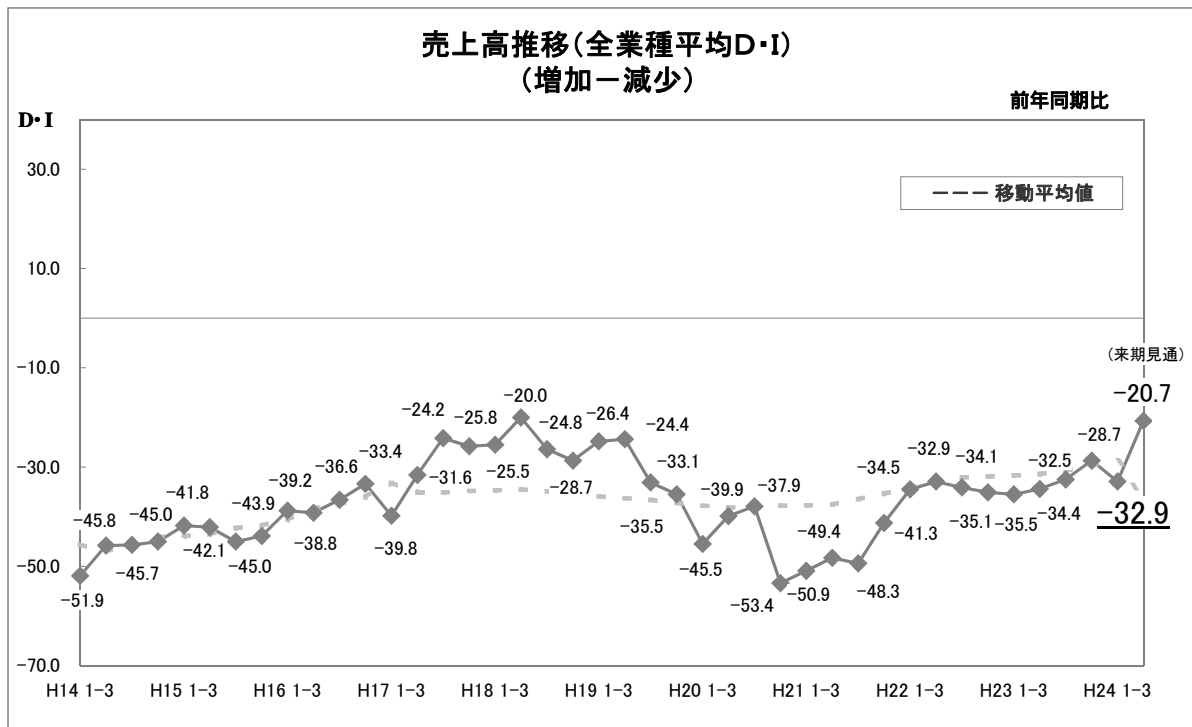
全業種平均でD・I値 41.0〔前回調査時（平成23年10～12月期 32.2）より8.8ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 22.4 37.5〕、建設〔前回 23.3 34.2〕  
卸売〔前回 32.2 48.5〕、小売〔前回 39.7 44.7〕  
サービス〔前回 43.3 40.2〕

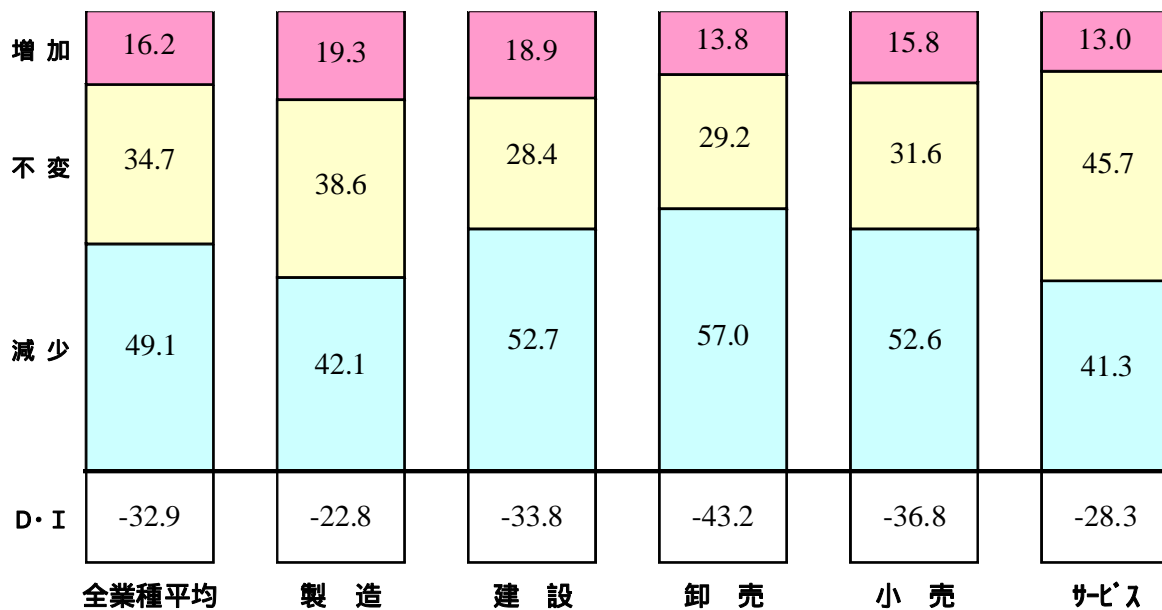


(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成23年 1～3月期の水準と比較した今期の業況）



今期の売上高(前年同期比)

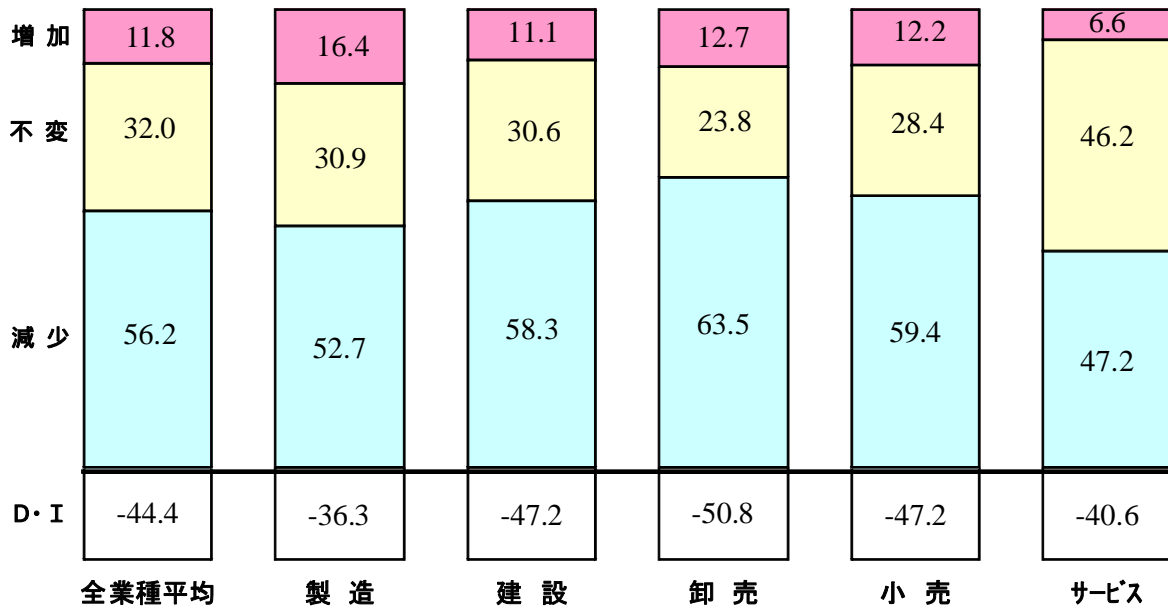


全業種平均でD・I値 32.9〔前回調査時(平成23年10～12月期 28.7)より4.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 17.3 22.8〕、建設〔前回 30.5 33.8〕  
卸売〔前回 33.8 43.2〕、小売〔前回 27.9 36.8〕  
サービス〔前回 34.3 28.3〕

【前期比】（平成23年 10～12月期の水準と比較した今期の業況）

今期の売上高(前期比)

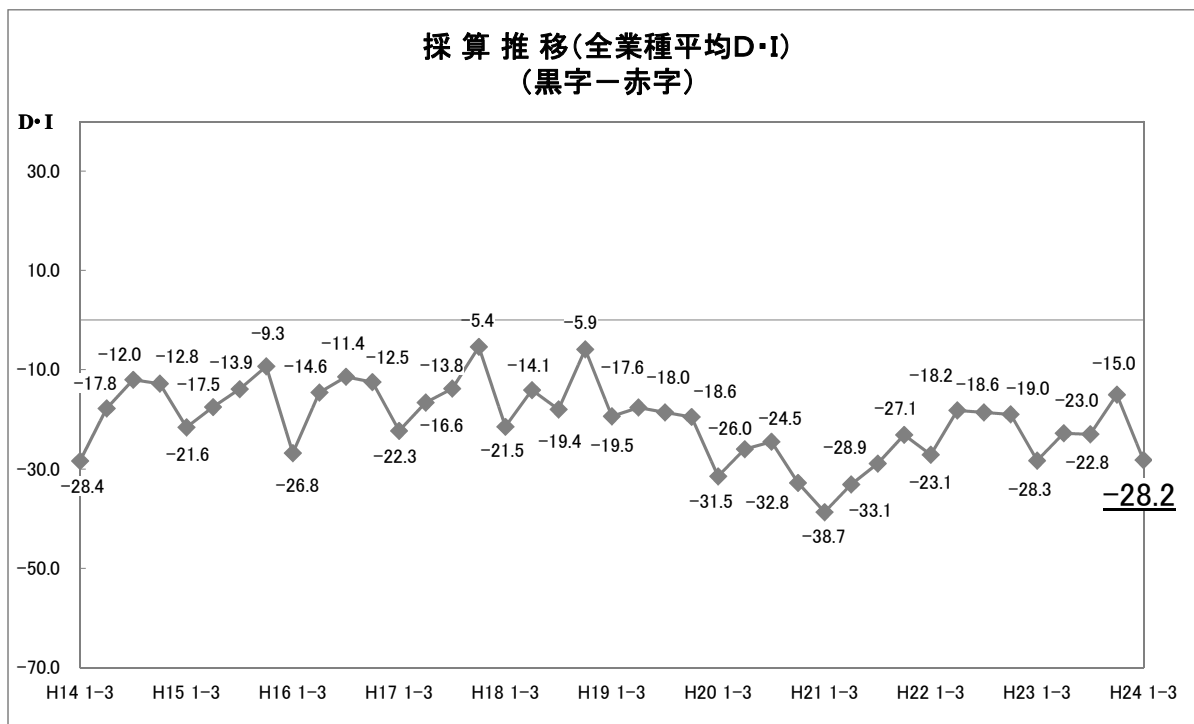


全業種平均でD・I値▲44.4〔前回調査時（平成23年10～12月期 12.2）より32.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

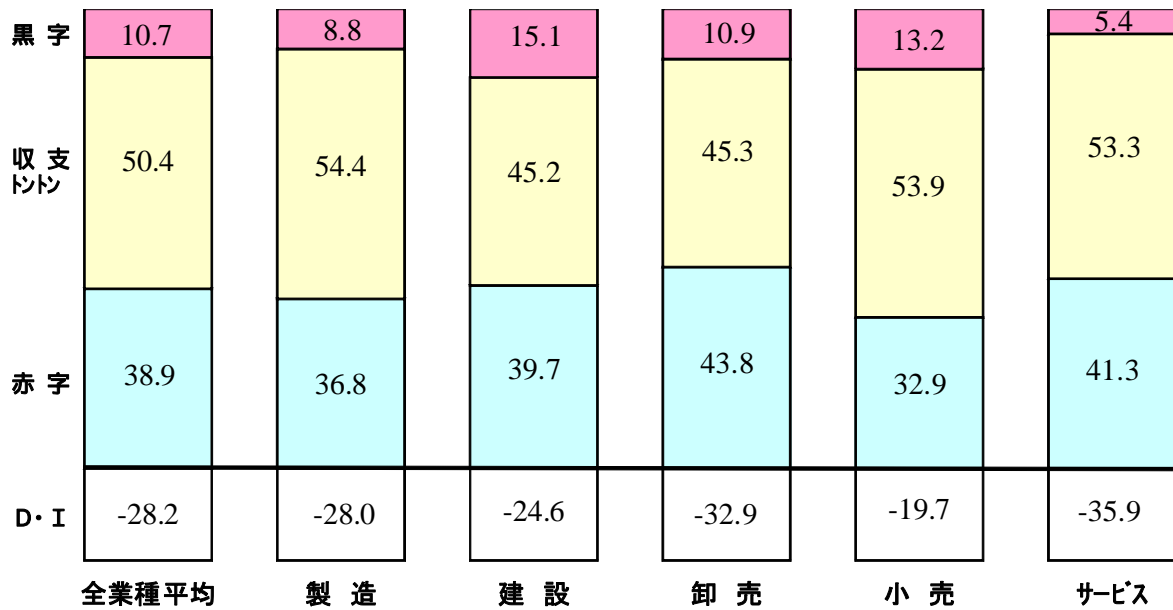
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 5.2 36.3〕、建設〔前回 10.9 47.2〕  
 卸売〔前回 1.6 50.8〕、小売〔前回 15.2 47.2〕  
 サービス〔前回 28.1 40.6〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】



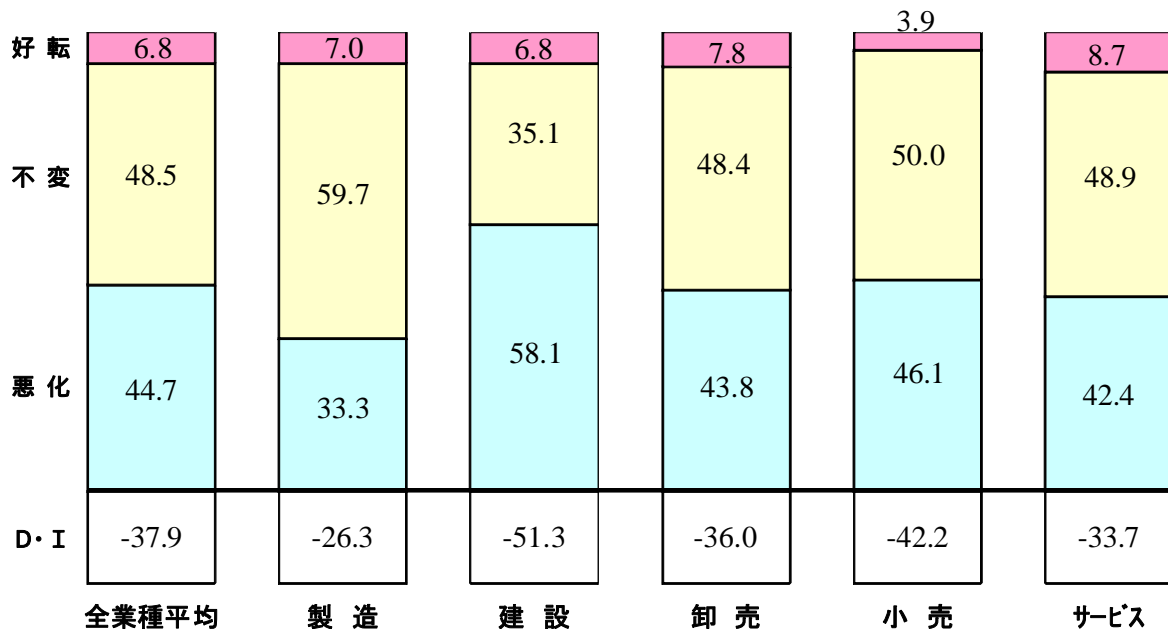
今期の採算(今期の水準)



全業種平均でD・I値 28.2〔前回調査時(平成23年10~12月期 15.0)より13.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 14.0 28.0〕、建設〔前回 15.1 24.6〕  
卸売〔前回 0.0 32.9〕、小売〔前回 23.1 19.7〕  
サービス〔前回 22.9 35.9〕

【前年同期比】(平成23年1~3月期の水準と比較した今期の業況)  
今期の採算(前年同期比)

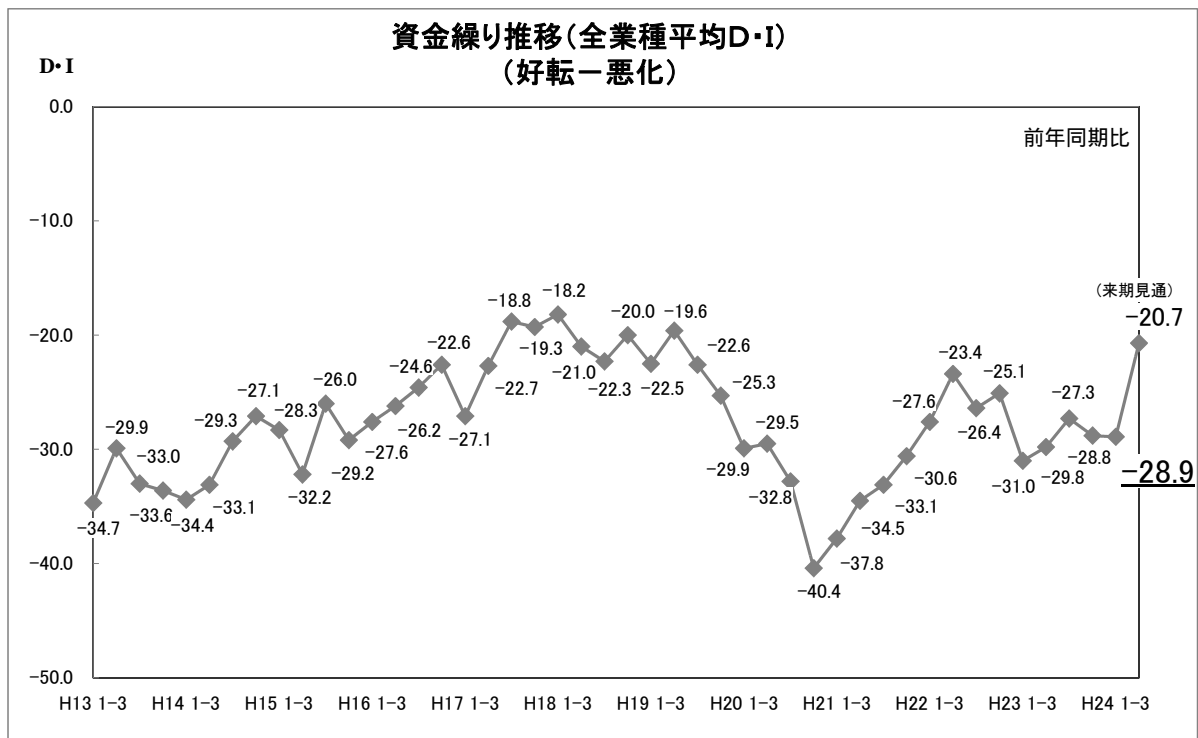


全業種平均でD・I値 37.9〔前回調査時(平成23年10~12月期 34.7)より3.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

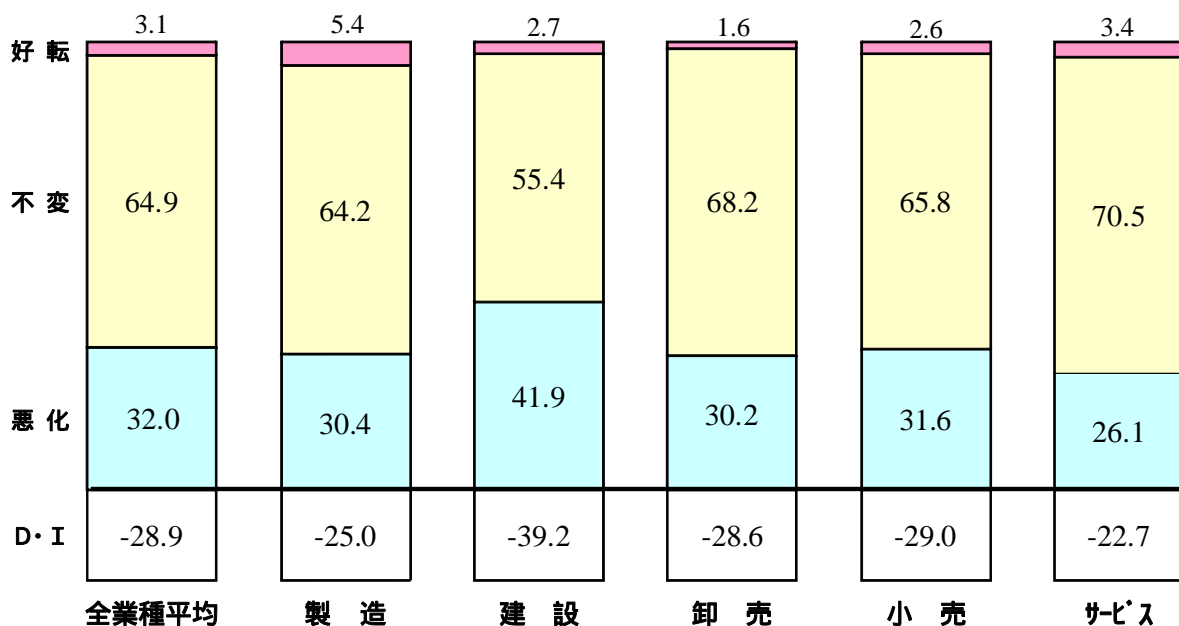
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 29.8 26.3〕、建設〔前回 38.4 51.3〕  
卸売〔前回 29.0 36.0〕、小売〔前回 36.7 42.2〕  
サービス〔前回 39.5 33.7〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成23年 1～3月期の水準と比較した今期の業況）



今期の資金繰り(前年同期比)



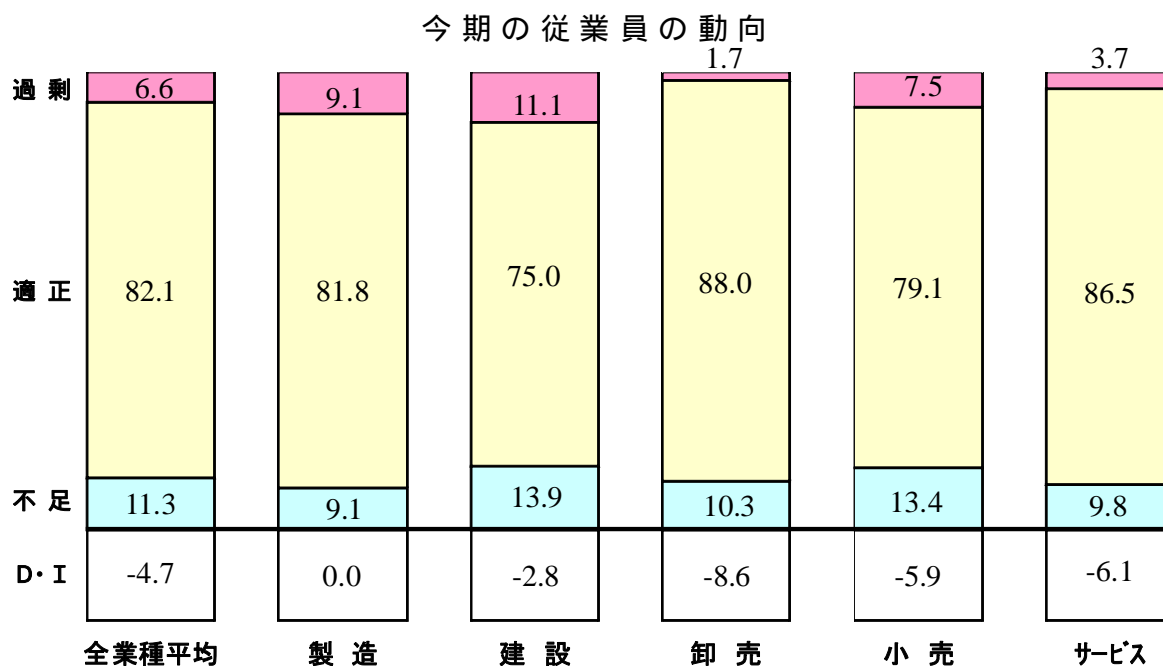
全業種平均でD・I値 28.9〔前回調査時（平成23年10～12月期 28.8）より0.1ポイントマイナス幅が拡大〕。依然として全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている一方で、建設業で資金繰りが悪化していると回答する企業が増えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 25.8 25.0〕、建設〔前回 28.8 39.2〕  
卸売〔前回 29.0 28.6〕、小売〔前回 29.1 29.0〕  
サービス〔前回 31.2 22.7〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(34.1%) [前回 39.5%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(18.2%) [前回 11.3%]
	「原材料価格の上昇」	(11.4%) [前回 22.6%]
建設業	「官公需要の停滞」	(38.0%) [前回 31.8%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(22.5%) [前回 35.0%]
	「民間需要の停滞」	(17.2%) [前回 16.7%]
卸売業	「需要の停滞」	(63.1%) [前回 55.4%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(10.5%) [前回 6.9%]
	「仕入単価の上昇」	(7.0%) [前回 5.2%]
小売業	「需要の停滞」	(26.2%) [前回 28.3%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(11.7%) [前回 5.6%]
サービス業	「需要の停滞」	(32.0%) [前回 36.9%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(14.1%) [前回 14.3%]

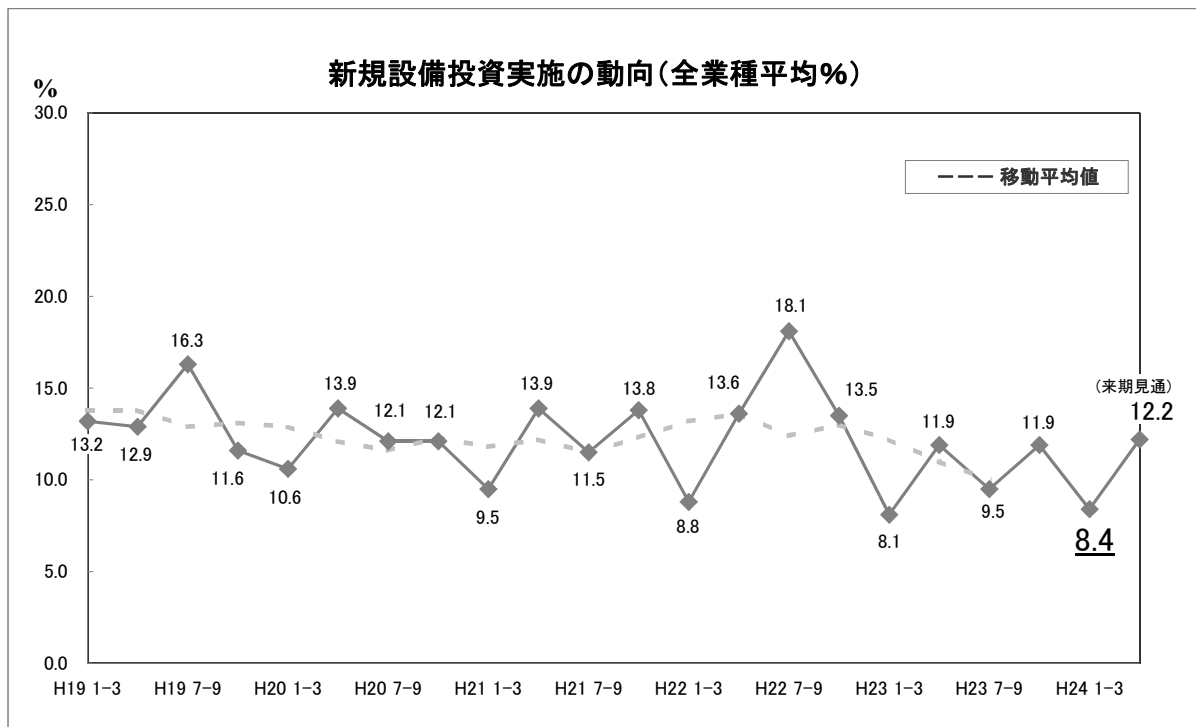
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では▲4.7〔前回調査時（平成23年10～12月期 2.7）〕と、依然適正と回答する企業は多い。

[業種別D・I値] 製造〔前回 3.6 0.0〕（適正81.8%）  
 建設〔前回 5.6 2.8〕（適正75.0%）  
 卸売〔前回 5.2 8.6〕（適正88.0%）  
 小売〔前回 1.4 5.9〕（適正79.1%）  
 サービス〔前回 8.0 6.1〕（適正86.5%）

(7) 今期の新規設備投資



(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	14.3	13.7	3.1	6.7	4.4	8.4
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
工場建物、建物、店舗	12.5	0.0	0.0	40.0	0.0	10.5
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0
車両運搬具	12.5	50.0	50.0	60.0	25.0	39.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
OA機器	25.0	60.0	0.0	0.0	50.0	27.0
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.5	10.0	0.0	0.0	0.0	4.5
実施していない	85.7	86.3	96.9	93.3	95.6	91.6

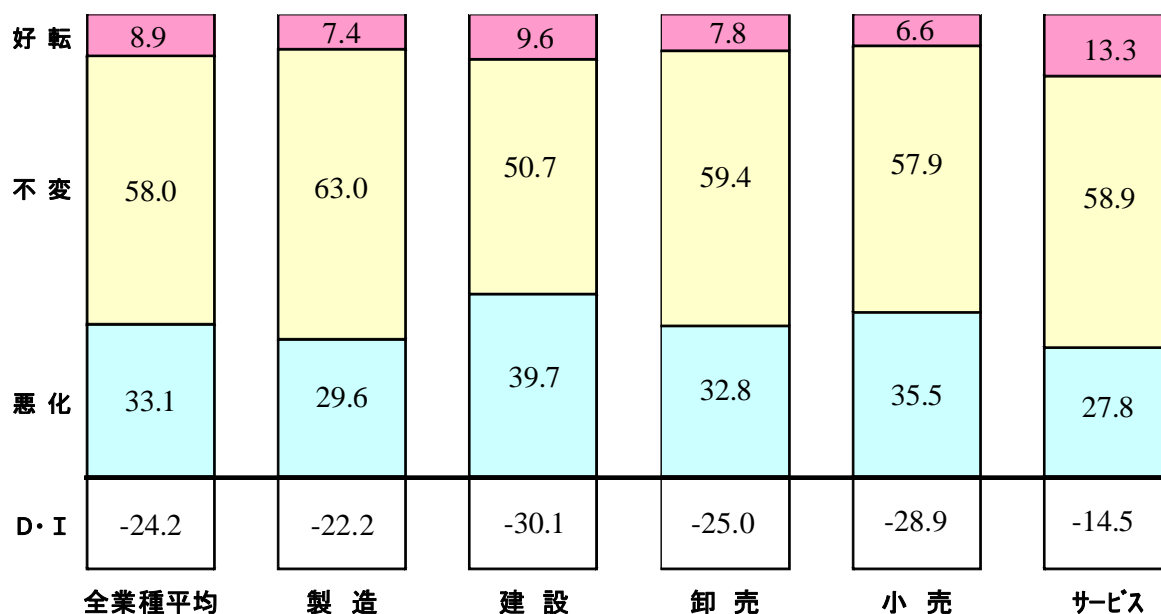
新たに設備投資を実施した企業は平均で8.4%〔前回調査時(平成23年10~12月期11.9%)〕、業種別では製造〔前回17.9% 14.3%〕、建設〔前回13.7% 13.7%〕、卸売〔前回3.2% 3.1%〕、小売〔前回7.6% 6.7%〕、サービス〔前回17.0% 4.4%〕と、前回調査に比べ設備投資を実施した企業は減少した。

## 2. 来期の見通し

### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成23年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

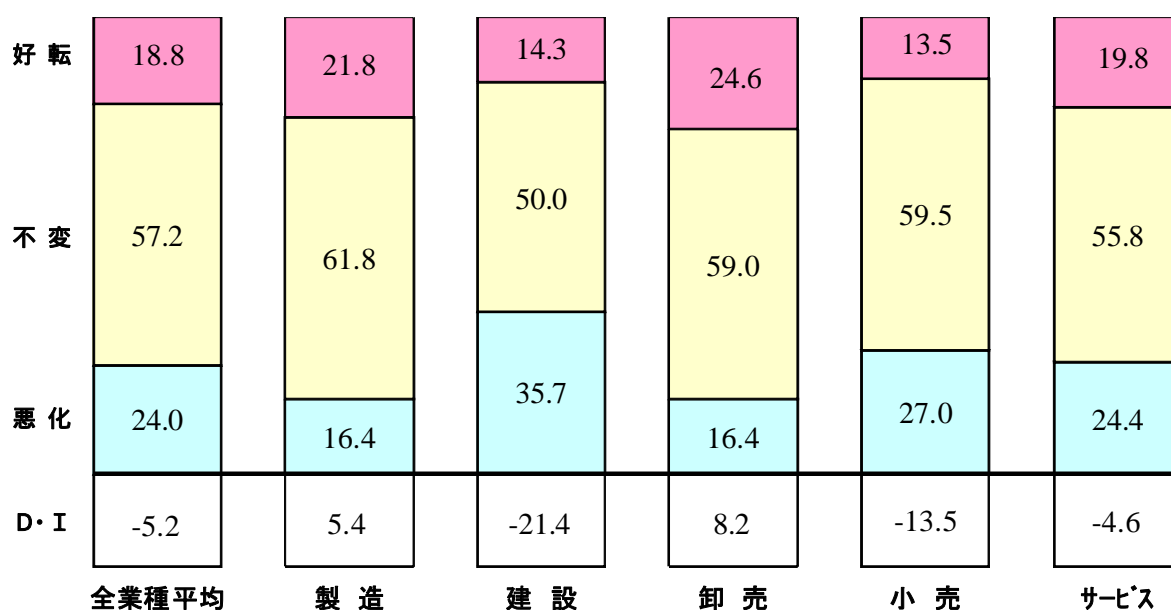
来期の業況見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 24.2〔今期の業況（前年同期比 32.3）より8.1ポイントマイナス幅が縮小〕と、一部持ち直しの動きが見られる。

【今期比】（平成24年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

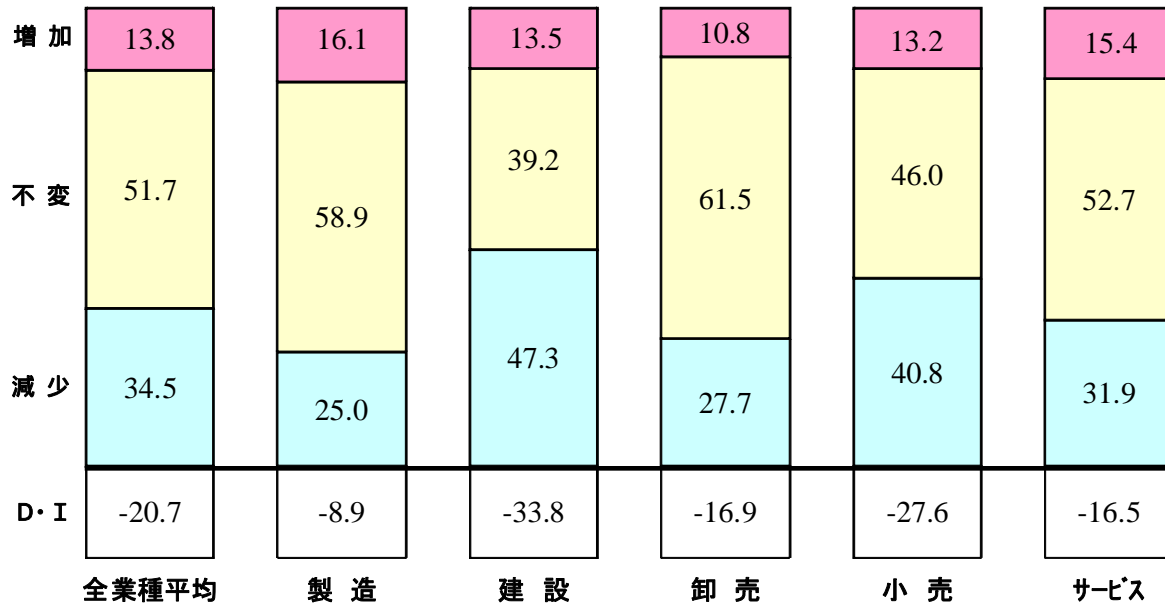
来期の業況見通し(今期比)



## (2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成23年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し(前年同期比)

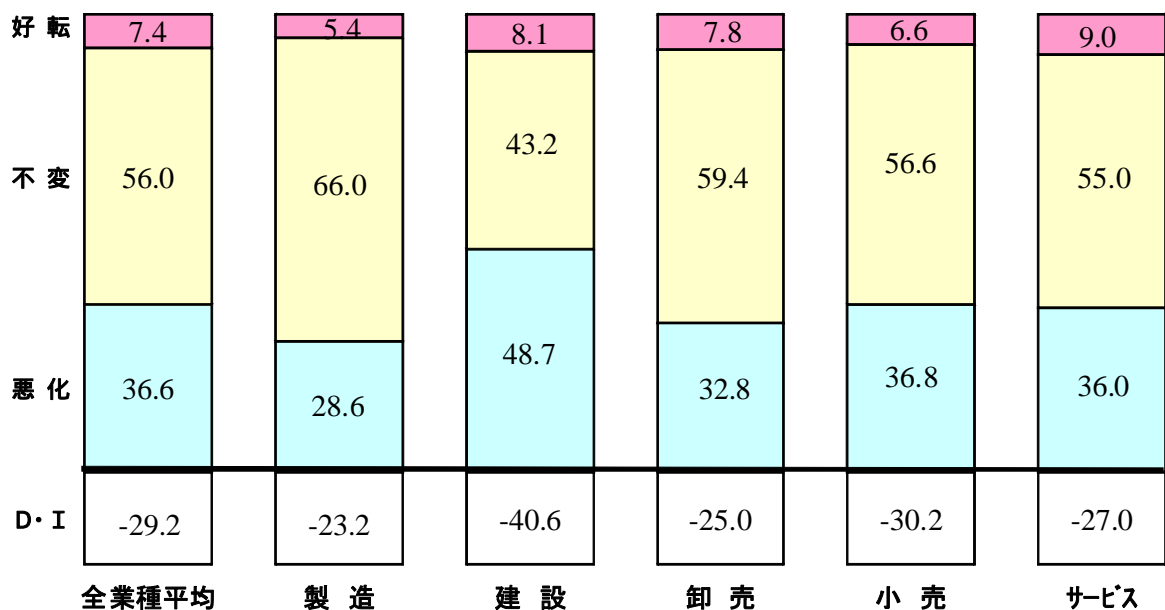


全業種平均でD・I値 20.7〔今期の売上高（前年同期比 32.9）より12.2ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

## (3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成23年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 29.2〔今期の採算（前年同期比 37.9）より8.7ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。



#### (4) 来期の新規設備投資

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	12.5	9.7	10.8	14.7	13.2	12.2
土地	0.0	14.3	14.3	27.3	8.3	12.8
工場建物、建物、店舗	14.3	14.3	14.3	18.2	8.3	13.9
生産・販売・サービス設備、建設機械	71.4	28.6	0.0	36.4	25.0	32.3
車両運搬具	14.3	42.9	28.6	0.0	8.3	18.8
倉庫・駐車場等の付帯施設	28.6	0.0	0.0	18.2	16.7	12.7
O A 機器	0.0	71.4	28.6	27.3	75.0	40.5
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	2.9
実施しない	87.5	90.3	89.2	85.3	86.8	87.8

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で12.2%となっており、今期(8.4%)を上回る見通し。

業種別では、製造〔今期7.3% 14.3%〕、建設〔今期9.6% 13.7%〕、卸売〔今期9.7% 3.1%〕、小売〔今期10.1% 6.7%〕、サービス〔今期12.8% 4.4%〕となっている。